



保守点検に15年追加 住みやすい環境提案

—2012年9月、父で創業者の憲一
氏が亡くなり、異業種から社長業を引き継いだ

を考えるようにした。社員の責任感も強まり、自分たちで会社を動かしていくという意識に変わってきた。自身がほかの会社で一社員を経験したこともあり、社員の立場の気持ちも分かる。ほかの会社で一社員を経験したことでも、サービス業をしていた経験から、みんなで集まって一つの問題

—アフターフォローの対応は
「太陽光発電システムの運転開始後からアフターフォローまでのサービス品質を高水準で管理する保守管理体制を整えている。3ヶ月・1年・3年・6年・10年の計5回だった保守点検プログラムに15年を加えた。お客様との密接なかかわり合いの中で家庭の電気すべてを見てあげられるようにした

INTERVIEW 次代を拓く

東洋ソーラー(株)社長

藤原一美 氏

■松江市北陵町

ふじはら・かずみ／総合プライダル業の(有)フローレス(松江市)で20年間勤務し統括部長などを務めた。2012年、東洋ソーラー㈱に入社し、13年4月から現職。釣りが趣味。「駆け引きが仕事と似ていておもしろい」と魅力を語る。松江市東持田町。43歳。

い。15年の期間の中であらゆる質問を受けるので、HEMS(ホームエネルギー管理システム)や家電の紹介、スマネジメントなどをしていきた

ー新たな取り組みは

「今秋、江津市に営業所を開設する。西の拠点として営業展開していく。メガソーラーを利用しての雇用の場を生み出すとともに、見学などの施設利用ができるようにする。また、昨年11月から一本化していった産業用と一般住宅・集合住宅用の営業部署を二つに分けて営業を行っている。それぞれいろいろなアイデアを出して動くことで、メインの一般住宅や集合住宅の柱を太くすることができる」

ー今年創業20周年を迎えるが、今後の目標は

「何世代にもわたって住みやすい環境を考えながら提案していきたい。時代の変化が激しい中、自分たちの方向性を見失わず、お客様には、キャッチコピーの『お客様の満足まで発電したい』の言葉通り、喜んでもらえる仕事をし、社員にとつては安心して勤められる会社にしたい。そうすることで会社が強くなり、信用度も上がると思う」